

2023年7月10日掲載 輸送新聞

仙台の盲導犬センターで

新人約50人が研修

第一貨物 今後育成を支援

第一貨物の集配職の新入社員約50人が6月28日、仙台市青葉区の日本盲導犬協会仙台訓練センターを訪問し、盲導犬に関する研修を受けた。同社は盲導犬協会の法人賛助会員として盲導犬の育成事業を支援しており、研修はその一環。

山形県天童市の同社中央研修所で研修中の51人が午前と午後の2

部体制で訪問。事務職の50人は3月28日に研修を終えている。

研修ではパワーポイントを使用した講話を中心に、盲導犬が障害物を避ける様子や、盲導犬ユーザーに危険を知らせるアクションなどを披露。最後に盲導犬と写真撮影した。

6月16日に仙台市宮城野区の仙台サンプラザで開かれた同訓練セ

ンター主催の「盲導犬新ユニット出発式」にも同社の関係者が出席。2022年度に訓練を終えた8頭の盲導犬と盲導犬ユーザーとの新たな門出を祝った。



盲導犬に関する研修の様相